

栃木県栄養士会
会長 佐藤 敏子 様

栃木県歯科医師会
会長 大野 克夫
〔公印省略〕

第78回栃木県歯科医学会の開催について

仲秋の候、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

会務運営等につきましては、平素特段のご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、第78回栃木県歯科医学会を下記によりハイブリッド方式（会場参加型とWeb参加型の併用）にて開催することといたしましたのでご案内申し上げます。

つきましては、ご多用のところ誠に恐縮ですが、貴会の参加者についておとり纏めいただき、メール（gakujiyutsu@tochigi-da.or.jp 宛）または別紙名簿をFAX（028-648-8149 宛）にて、お申し込み下さるようお願いいたします。Web参加者に対しましては、追って各個人のメールアドレスへ招待メールを送信いたします。

なお、オンデマンド配信は、開催翌週（11月10日（月））からの配信を予定しております。

記

1. 日 時 令和7年11月9日（日）午前9時～

【申込締切：10月23日（木）、Web参加者への招待メール送信日：10月24日（金）】

2. 会 場 栃木県歯科医師会館 2階大会議室（Web会議ツール「Zoom」併用）

3. 口演発表 14例（発表者・演題…別紙のとおり）

4. 特別講演 演題：「明日からの診療に役立つ有病高齢者の歯科治療におけるポイント」

講師：国際医療福祉大学 病院教授 歯科口腔外科部長 岩淵 博史 先生

※口演発表、特別講演の録音・録画等をご遠慮ください。

※質問は、口演発表は会場のみ受付け、特別講演は会場及びチャットでの受付けとさせていただきます。

※講演内容の都合上、オンデマンド配信は一部のみの配信とさせていただきます。

5. 定 員 会場参加 定員100名（先着順）、Web参加 定員なし

6. そ の 他 ・接続テストを【10月27日（月）午後1時～午後2時】に実施しますのでご利用ください。
・昼食の配布および学会終了後の懇親会はありません。
・県歯会館2階にて、連携企業数社による企業展示を実施いたします。

明日からの診療に役立つ有病高齢者の歯科治療におけるポイント

国際医療福祉大学病院教授 歯科口腔外科部長
岩渕博史

超高齢者社会に突入して久しい本邦においては、歯科医院を受診する患者の多くも有病高齢者となってきた。2023 年の調査では、人口 10 万当たりの受療率（入外来合計）は、悪性新生物は 304 人、糖尿病 175 人、神経及び行動障害 368 人、認知症 106 人、循環器疾患 821 人（高血圧 491 人、心疾患 158 人、脳血管疾患 148 人）、呼吸器疾患 570 人、腎疾患 312 人であると報告されている。このことから日常診療はもはや有病者診療であるといっても過言ではない。また、有病高齢者は全身疾患を併発しているのみではなく、何らかの薬物治療を受けている。有病高齢者の治療においては、投薬を受けている薬剤についても考慮する必要がある。本講演では脳卒中、心疾患、高血圧、糖尿病、腎疾患、膠原病（自己免疫疾患）骨粗鬆症患者の歯科治療時における注意点について解説させていただく。また、患者が使用している薬剤に関連した口腔内の副作用、ビスホスホネートやデノスマブ、抗血栓薬、副腎皮質ステロイド薬使用患者における対応のポイント、ポリファーマシーについても解説させていただく。

略歴

1992 年 3 月

東京歯科大学卒業

1992 年 5 月

慶應義塾大学医学部研修医（歯科口腔外科）

1998 年 7 月

慶應義塾大学医学部助手（歯科口腔外科学）

2001 年 5 月

国立栃木病院歯科口腔外科

2009 年 4 月

国立病院機構栃木病院 歯科口腔外科医長

2012 年 4 月

慶應義塾大学医学部非常勤講師（現在に至る）

2013 年 11 月

神奈川歯科大学顎顔面外科学講座 診療科講師

国立病院機構栃木病院栃木医療センター 非常勤歯科医師（現在に至る）

2015 年 4 月

神奈川歯科大学大学院歯学研究科顎顔面外科学講座 准教授

2021 年 4 月

国際医療福祉大学病院教授 歯科口腔外科部長

神奈川歯科大学特任教授（現在に至る）

博士（歯学）、日本歯科専門医機構認定口腔外科専門医、

日本口腔外科学会認定口腔外科指導医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、

日本有病者歯科医療学会認定専門医・指導医、日本小児口腔外科学会認定指導医、

日本口腔内科学会認定指導医、日本歯科薬物療法学会認定専門医、

インфекションコントロールドクター、緩和ケアの基本教育に関する研修指導者

日本歯科薬物療法学会 理事長、日本有病者歯科医療学会 常任理事、

日本口腔内科学会 理事、日本小児口腔外科学会 理事、

日本口腔感染症学会 理事、日本歯科医学会 理事、

日本口腔外科学会 代議員、日本口腔ケア学会 評議員

日本歯科医学会連合 評議員、日本歯科医学会連合 臨床研究支援委員会 委員長

歯学系学会社会保険委員会連合 常任委員、

日本歯科医師会 保険適応検討委員会 委員長、

日本歯科医師会 医薬品委員会 委員

第78回 栃木県歯科医学会プログラム

《午 前》

9:00～ 9:08 開会・挨拶

9:08～11:45 会員・関係団体口演発表（14例）

会場 県歯会館大会議室（口演発表）

時間 目安	NO	郡市区	座長	提 出 者	発 表 者	演 題	発表 時間	分野	発表形式
9:08	1	下都賀	町田裕哉	獨協医科大学口腔外科学講座 川又 均 宮崎果歩、中村由希帆、和久井崇大、長瀬陽祐、 爲ヶ谷早紀、小池亜弥、白石 怜、八木沢就真、 橋川芳明、長谷川智則、斎藤正浩、大友文雄、 小宮山雄介、福本正知	宮崎果歩	嚢胞様X線透過像を示す顎骨内病変に対する当科にお ける診断・治療の妥当性の検討	8分	口腔外科	口演発表
9:20	2	下都賀	町田裕哉	獨協医科大学口腔外科学講座 川又 均 神谷史佳、小林潤香、滝口智太郎、和田 怜、人見雅代、 依藤俊暉、藤原昂夢、国富陽介、蝶良恭弘、 蝶良(大久保)真希、泉さや香、越路千佳子、 小宮山雄介、福本正知、和久井崇大	神谷史佳	獨協医科大学口腔外科における顎関節症に対する 診断・治療態度	8分	口腔外科	口演発表
9:30	3	小山	大友文雄	自治医科大学医学部歯科口腔外科学講座 野口忠秀 小倉佳奈、土肥昭博、小河原剛、松本彩香、山本亜紀、 相澤恵美、杉浦康史、七條なつ子	小倉佳奈	下顎埋伏智歯抜歯時のパノラマX線画像とCT画像の比 較検討	8分	口腔外科	口演発表
9:40	4	小山	大友文雄	自治医科大学医学部歯科口腔外科学講座 野口忠秀 鎌田眞行、杉浦康史、尾田誠一郎、佐藤弘平、 土肥昭博、相澤恵美、七條なつ子	鎌田眞行	当科における舌白板症の臨床病理学的検討	8分	口腔外科	口演発表
9:50	5	小山	大友文雄	自治医科大学医学部歯科口腔外科学講座 野口忠秀 小堀有莉果、相澤恵美、山沢美乃莉、高橋侑吾、 佐藤 元、小川あゆみ、土肥昭博、杉浦康史、七條なつ子	小堀有莉果	肝硬変およびワルファリン服用患者における抜歯後の 止血管理に難渋した2例	8分	口腔外科	口演発表
10:00	6	宇都宮市	北條雅人	国立病院機構栃木医療センター 須賀賢一郎 田畑玲奈、山田 学、安井佑太、下清 啓、堤 亮太	田畑玲奈	口蓋粘膜弁を用いて閉鎖した口蓋隆起部MRONJの一 例	8分	口腔外科	口演発表
10:10	7	宇都宮市	北條雅人	中川英男、手塚永均、亀田敬二、岡田 淳、 二階堂能生、村上修一、檜山成寿	中川英男	高齢者よい歯の表彰 ～8020運動に向けた宇都宮市歯科医師会の取り組み ～	13分	社会歯科	口演発表
10:25	8	宇都宮市	北條雅人	神山卓久	神山卓久	歯内-歯周病変の一例 -微細構造からみた病能分類について-	13分	保存	口演発表
10:40	9	宇都宮市	北條雅人	村上高宏	村上高宏	Wi-Fi通信距離がワイヤレス口腔内スキャナーのイン ラント位置再現性に与える影響	8分	補綴	口演発表
10:50	10	宇都宮市	北條雅人	社会医療法人中山会宇都宮記念病院歯科口腔外科 佐々木忠昭、月村久恵、岡田成生、石川美香	月村久恵	Er:YAGレーザー使用時に顔面・頸部および縦隔気腫を 生じた1例	8分	口腔外科	口演発表
11:00	11	足利	小林 浩	足利赤十字病院歯科口腔外科 向井裕真、田島理那、中里桂一郎、刈削俊輔、柚木泰広	向井裕真	軟骨無形成症患者に対し外科的矯正治療を行った1例	8分	口腔外科	口演発表
11:10	12	芳賀	木代 宏	比嘉沙也佳、早坂純一、村上知弘、武藤安紀、 勝田彩香、柳田治朗、青柳 治、宮本 猛、石川圭司、 渋谷光子、木代 宏	比嘉沙也佳	芳賀地域における巡回型口腔がん検診体制の構築と 実践 -公平な受診機会と地域医療連携の確立に向けて-	8分	口腔外科	口演発表
11:20	13	栃木県 歯科 技士会	長島克弘	南木康広	南木康広	歯科技士の現状	13分	社会歯科	口演発表
11:35	14	栃木県 歯科 衛生士会	長島克弘	赤羽幸恵、長谷規子、星野小百合、戸井田紀子、 神戸睦月、渡邊敦子	赤羽幸恵	フッ化物配合歯磨剤について -本会会員に行ったアンケート結果を中心に-	8分	その他	口演発表

11:45

《午 後》

13:30～13:40 開会・講師紹介

13:40～16:30 特別講演（質疑応答を含む）

会場 県歯会館大会議室（特別講演）

講 師		演 題
国際医療福祉大学 病院教授 歯科口腔外科部長	岩淵博史	明日からの診療に役立つ有病高齢者の歯科治療におけるポイント

16:30～16:40 感謝状贈呈

16:40 閉会

明日からの診療に役立つ有病高齢者の歯科治療におけるポイント

国際医療福祉大学病院教授 歯科口腔外科部長
岩渕博史

超高齢者社会に突入して久しい本邦においては、歯科医院を受診する患者の多くも有病高齢者となってきている。2023 年の調査では、人口 10 万当たりの受療率（入外来合計）は、悪性新生物は 304 人、糖尿病 175 人、神経及び行動障害 368 人、認知症 106 人、循環器疾患 821 人（高血圧 491 人、心疾患 158 人、脳血管疾患 148 人）、呼吸器疾患 570 人、腎疾患 312 人であると報告されている。このことから日常診療はもはや有病者診療であるといっても過言ではない。また、有病高齢者は全身疾患を併発しているのみではなく、何らかの薬物治療を受けている。有病高齢者の治療においては、投薬を受けている薬剤についても考慮する必要がある。本講演では脳卒中、心疾患、高血圧、糖尿病、腎疾患、膠原病（自己免疫疾患）骨粗鬆症患者の歯科治療時における注意点について解説させていただく。また、患者が使用している薬剤に関連した口腔内の副作用、ビスホスホネートやデノスマブ、抗血栓薬、副腎皮質ステロイド薬使用患者における対応のポイント、ポリファーマシーについても解説させていただく。

略歴

1992 年 3 月

東京歯科大学卒業

1992 年 5 月

慶應義塾大学医学部研修医（歯科口腔外科）

1998 年 7 月

慶應義塾大学医学部助手（歯科口腔外科学）

2001 年 5 月

国立栃木病院歯科口腔外科

2009 年 4 月

国立病院機構栃木病院 歯科口腔外科医長

2012 年 4 月

慶應義塾大学医学部非常勤講師（現在に至る）

2013 年 11 月

神奈川歯科大学顎顔面外科学講座 診療科講師

国立病院機構栃木病院栃木医療センター 非常勤歯科医師（現在に至る）

2015 年 4 月

神奈川歯科大学大学院歯学研究科顎顔面外科学講座 准教授

2021 年 4 月

国際医療福祉大学病院教授 歯科口腔外科部長

神奈川歯科大学特任教授（現在に至る）

博士（歯学）、日本歯科専門医機構認定口腔外科専門医、

日本口腔外科学会認定口腔外科指導医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、

日本有病者歯科医療学会認定専門医・指導医、日本小児口腔外科学会認定指導医、

日本口腔内科学会認定指導医、日本歯科薬物療法学会認定専門医、

インфекションコントロールドクター、緩和ケアの基本教育に関する研修指導者

日本歯科薬物療法学会 理事長、日本有病者歯科医療学会 常任理事、

日本口腔内科学会 理事、日本小児口腔外科学会 理事、

日本口腔感染症学会 理事、日本歯科医学会 理事、

日本口腔外科学会 代議員、日本口腔ケア学会 評議員

日本歯科医学会連合 評議員、日本歯科医学会連合 臨床研究支援委員会 委員長

歯学系学会社会保険委員会連合 常任委員、

日本歯科医師会 保険適応検討委員会 委員長、

日本歯科医師会 医薬品委員会 委員